

日本語話し言葉コーパスについての考察

学生番号 1J19E058 加藤隆聖

2021 年 4 月 22 日

1 音声的・言語的特徴

学会講演（女）

主なフィラー

A01F0067 え

A01F0122 と

- 学会講演の男性に比べて一文を読み上げる声の大きさが一定である。
- フィラーは短い音になっている。

学会講演（男）

主なフィラー

A01M0015 えー

A01M0020 えー

- 長い文章の最後の方に声が小さくなっている。
- 出だしの声が、大きい。
- フィラーは学会講演女性に比べて長め。

模擬講演（女）

主なフィラー

S00F0014 あのー、え、その、ま

S00F0041 あのー、えーと

- 一文を読み切る前に間入れることが多い。
- 学会講演よりも抑揚がついている。
- SOV の文ではなく、文法が正確でない文が多い。

模擬講演（男）

主なフィラー

S00F0041 えー、まー、あのー

S00M0065 えー、あの、ま

- 一文を読み切る前に間入れることが多い。
- 学会講演では、一文を一回の発声で読み上げようとしている。
- 学会講演よりも抑揚がついている。

2 考察

学会講演と模擬講演の比較について、学会講演では人前の発表であるからか、話の間を埋めるためにフィラーを模擬講演よりも多く発している。また、学会講演では一文の間を取ることなく声を発しているように思われた。これは、正式な文章が好まれる学会発表であるためではないかと考えられる。これに対し、模擬講演では文法が正確でない（語順が SOV でない）文章が発せられていた。さらに、学会講演では、模擬講演よりも抑揚がついていないように感じられた。これは、学会で発表する事実が大切であるため、抑揚を付けない方が事実を伝えやすい彼ではないかと考えられる。

男性と女性の比較について、女性の方がフィラーの長さが男性よりも短いように感じられた。このようなフィラーの差は次に何を話そうと考えている文の長さによって差が出てくるのではないかと考えた。つまり、話している間に女性は次の文章について考えているため、フィラーを入れることなく発声できているのではないか。また、男性の方が一文の中での声の大きさの最大値と最小値の差が大きいに聞こえるのに対して、女性は声の大きさが一定に感じられる。これは、声帯などの音声器官の形の違いが原因のではないかと考えた。